

第12回(1)13/7/8(CS3年・荒井) ネットワークプランニング

【授業後半】ルータ設定の復習 (試験範囲は前半も含みます)

※本資料は授業後(数日以内)にWEBで閲覧できるようにします※

2013/07/08

第12回(1)ネットワークプランニング13(荒井)

1

IPアドレス(※6-1)【5th復習】

- IPアドレス(論理アドレス)は、L3インターネット層におけるノードの識別のためのアドレス
- 32ビットの数値で構成
 - 通常8ビット(オクテッド)ごとに4つに分け、各々10進数で「.(ピリオド)」で区切って表記
 - 例: 192.168.0.1 202.254.96.188 など
 - 1オクテッドは、10進法で「0～255」、16進法で「0～FF」
- 「ネットワーク部+ホスト部」= IPアドレス
 - どこで区切られるかは、サブネットマスクで指定
 - オクテッド部分で区切るのが基本だが、いずれのビット部分でも区切ることは可能

2013/07/08

第12回(1)ネットワークプランニング13(荒井)

2

プライベートアドレスとグローバルアドレス(※6-1)【5th復習】

- 32bitのIPアドレスつまり0.0.0.0～255.255.255.255は、
- インターネットで使用してよい「グローバルアドレス」と
- 内部の閉じた空間のみで使用可能な「プライベートアドレス」に分けられている。
 - プライベートアドレスのネットワークを単独にインターネットに接続してはいけない。
 - 通常会社・大学などの内部ではプライベートアドレスを利用し、閉じた空間としている。
 - アドレス変換(NAT)、IPマスカレードなどの技術を利用して、インターネットに接続
- プライベートアドレスの範囲:
 - クラスA: 10.0.0.0～10.255.255.255 (クラスA・1本分)
 - クラスB: 172.16.0.0～172.31.255.255 (クラスB・16本分)
 - クラスC: 192.168.0.0～192.168.255.255 (クラスC・256本分)

2013/07/08

第12回(1)ネットワークプランニング13(荒井)

3

サブネット化の例【6th復習】

- クラスCの192.168.1/24のネットワークを4つに分割
 - 本来クラスCのホスト部は下位1オクテッド(8bit)のみ(クラスCの約束事)
 - 192.168.1.0～192.168.1.255
 - 4つに分割すると、
 - 1) 192.168.1.0～192.168.1.63
 - 192.168.1.[00|00 0000]～[00|11 1111]
 - 2) 192.168.1.64～192.168.1.127
 - 192.168.1.[01|00 0000]～[01|11 1111]
 - 3) 192.168.1.128～192.168.1.191
 - 192.168.1.[10|00 0000]～[10|11 1111]
 - 4) 192.168.1.192～192.168.1.255
 - 192.168.1.[11|00 0000]～[11|11 1111]
 - の4つのネットワークとして利用できるようになる
 - ホスト部である下位8ビットを4つ=2^2に分割、つまり8ビットの上位2ビット分をネットワーク部、下位6ビットがホスト部

2013/07/08

第12回(1)ネットワークプランニング13(荒井)

4

サブネットマスク(※6-3)【6th復習】

- 32bitのIPアドレスにおいて、ネットワーク部とホスト部の境界を判別するための情報
- 表記方法は複数ある
 - 例えば、ネットワーク部24bit+ホスト部8bit
 - **／24** 「プレフィックス表記」
 - 1111 1111 . 1111 1111 . 1111 1111 . 0000 0000
 - F F . F F . F F . 0 0
 - 「1 6進表記」
 - 255 . 255 . 255 . 0
 - 「1 0進表記」

2013/07/08

第12回(1)ネットワークプランニング13(荒井)

5

サブネット化のサブネットマスクの例【6th復習】

- クラスC(/24)のネットワークを4つに分割(サブネット化)
 - 本来のホスト部1オクテッド=8ビットの内、上位2ビット(4通り)をネットワーク部とする⇒ /26 (本来のネットワーク部24bit+サブネット2bit)
 - ホスト部は8ビット⇒6ビット
 - /24: 1111 1111 . 1111 1111 . 1111 1111 . 0000 0000 を
 - /26: 1111 1111 . 1111 1111 . 1111 1111 . 1100 0000 にする
 - /26 = FF.FF.FF.C0 = 255.255.255.192
- クラスB(/16)のネットワークを256個に分割(サブネット化)
 - 本来のホスト部2オクテッド=16ビットの内、上位8ビット(256通り)をネットワーク部とする⇒ /24
 - /24はクラスCと同じ
 - /24 = FF.FF.FF.00 = 255.255.255.0

2013/07/08

第12回(1)ネットワークプランニング13(荒井)

6

ネットワークアドレスとブロードキャストアドレス【5th復習】

- IPアドレスは32bitで、上位ネットワーク部+ホスト部という構成
- ネットワークアドレスとは、ネットワークそのものを意味する特殊なIPアドレス
 - ホスト部のビットが全て0
 - 例えば、192.168.1.0/24のクラスCネットワークの場合、
 - ネットワーク部3オクテッド: 192.168.1
 - ホスト部1オクテッド: [0000 0000]二進=0
 - ネットワークアドレス=192.168.1.0
- ブロードキャストアドレスとは、ブロードキャスト(一斉同報通信)をする際の特殊なIPアドレス
 - ホスト部のビットが全て1
 - 例えば、192.168.1.0/24のクラスCネットワークの場合、
 - ネットワーク部3オクテッド: 192.168.1
 - ホスト部1オクテッド: [1111 1111]二進=255
 - ブロードキャストアドレス=192.168.1.255

2013/07/08

第12回(1)ネットワークプランニング13(荒井)

7

ネットワークアドレスとブロードキャストアドレス例【5th復習】

- 例えば、172.26.0.0/16のクラスBのネットワークの場合、
- ネットワーク部2オクテッド: 172.26
- ホスト部2オクテッド:
 - 全て0:[0000 0000 . 0000 0000]二進=0.0
 - 全て1:[1111 1111 . 1111 1111]二進=255.255
- ネットワークアドレス=172.26.0.0
- ブロードキャストアドレス=172.26.255.255

2013/07/08

第12回(1)ネットワークプランニング13(荒井)

8

サブネットにおけるネットワークアドレスとブロードキャストアドレス例(1)【6th復習】

- クラスCの192.168.1/24のネットワークを4つに分割した最初①の、「192.168.1.0～192.168.1.63」の例
 - ネットワーク部は24+2=26bit, ホスト部下位6bit
- サブネットマスク: /26 FF.FF.FF.C0 255.255.255.192
- ネットワーク部上位26bit: 192.168.1.[00 | xx xxxx]
 - []内は2進数。4オクテッド目は、数字としては表せず、ビット表現
- ネットワークアドレス=192.168.1.0
 - ホスト部下位6bit全て0:[xx | 00 0000]二進
 - 下位1オクテッドのみについて:[00 | 00 0000]=0となる
 - 簡単に言うと、IPアドレス範囲の一番最初
- ブロードキャストアドレス=192.168.1.63
 - ホスト部下位6bit全て1:[xx | 11 1111]二進
 - 下位1オクテッドのみについて:[00 | 11 1111]=63となる
 - 簡単に言うと、IPアドレス範囲の一番最後

2013/07/08

第12回(1)ネットワークプランニング13(荒井)

9

サブネットにおけるネットワークアドレスとブロードキャストアドレス例(2)【6th復習】

- クラスCの192.168.1/24のネットワークを4つに分割した二番目②の、「192.168.1.64～192.168.1.127」の例
 - ネットワーク部は24+2=26bit, ホスト部下位6bit
- サブネットマスク: /26 FF.FF.FF.C0 255.255.255.192
- ネットワーク部上位26bit: 192.168.1.[01xx xxxx]
- ネットワークアドレス=192.168.1.64
 - ホスト部下位6bit全て0:[xx00 0000]二進
 - 下位1オクテッドのみについて:[01 | 00 0000]=64となる
 - 簡単に言うと、IPアドレス範囲の一番最初
- ブロードキャストアドレス=192.168.0.127
 - ホスト部下位6bit全て1:[xx | 11 1111]二進
 - 下位1オクテッドのみについて:[01 | 11 1111]=127となる
 - 簡単に言うと、IPアドレス範囲の一番最後

2013/07/08

第12回(1)ネットワークプランニング13(荒井)

10

サブネットにおけるネットワークアドレスとブロードキャストアドレス例(3)【6th復習】

- クラスCの192.168.1/24のネットワークを4つに分割した場合
 - ネットワーク部は24+2=26bit, ホスト部下位6bit
 - サブネットマスク(4ついずれも): /26 FF.FF.FF.C0 255.255.255.192
- ① IP空間: 192.168.1.0 ～ 192.168.1.63 (64個分)
 - [NW-ad] 192.168.1.0 [BC-ad] 192.168.1.63
- ② IP空間: 192.168.1.64 ～ 192.168.1.127 (64個)
 - [NW-ad] 192.168.1.64 [BC-ad] 192.168.1.127
- ③ IP空間: 192.168.1.128 ～ 192.168.0.191 (64個)
 - [NW-ad] 192.168.1.128 [BC-ad] 192.168.1.191
- ④ IP空間: 192.168.1.192 ～ 192.168.1.255 (64個)
 - [NW-ad] 192.168.1.192 [BC-ad] 192.168.1.255

2013/07/08

第12回(1)ネットワークプランニング13(荒井)

11

サブネットにおけるネットワークアドレスとブロードキャストアドレス例(4)【6th復習】

- クラスBの172.26/16のネットワークを128個に分割した場合
 - (2⁷=128) ネットワーク部は16+7=23bit, ホスト部下位16-7=9bit
 - サブネットマスク(いずれも): /23 FF.FF.FE.00 255.255.254.0
 - 512個(=2⁹)のIP-ad × 128個のネットワーク=65,536個
 - これは本来のクラスBと同じ数
- 1番目) IP空間: 172.26.0.0 ～ 172.26.1.255 (512個分)
 - 172.26.[0000 000 | x].[xxxx xxxx]
 - [NW-ad] 172.26.0.0 [BC-ad] 172.26.1.255
- 2番目) IP空間: 172.26.2.0 ～ 172.26.3.255 (512個分)
 - 172.22.[0000 001 | x].[xxxx xxxx]
 - [NW-ad] 172.26.2.0 [BC-ad] 172.26.3.255
- ...
- 128番目) IP空間: 172.26.254.0 ～ 172.26.255.255 (512個分)
 - 172.26.[1111 111 | x].[xxxx xxxx]
 - [NW-ad] 172.26.254.0 [BC-ad] 172.26.255.255

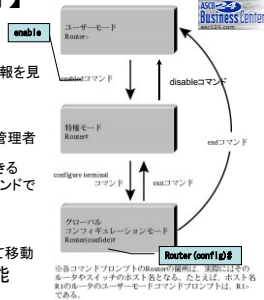
2013/07/08

第12回(1)ネットワークプランニング13(荒井)

12

IOSコマンド (※5,8章:5-2p202-203) 【8th復習】

- IOSのコマンドは階層的な構成
 - ユーザーモード
 - 最初の階層で、かなり限られた情報を見たり、簡単な操作しかできない
 - 設定情報は表示不可
 - 特権モード=イネーブルモード
 - これより深くは特権ユーザつまり管理者が使用
 - 通信状態、設定情報の確認ができる
 - ユーザモードから、「enable」コマンドで移動
 - コンフィグモード
 - 実際の設定を行う
 - 特権モードから、「config t」にて移動
- コマンドは省略、補完、Help可能



2013/07/08

第12回(1)ネットワークプランニング13(荒井)

13

IFの有効化とIPアドレスの設定 ※4.5【8th復習】

- 各I/Fの有効化(p348)
 - 「no shutdown」コマンド(IF-configモード内)
 - 使用する全てのI/Fに対して個別に行う必要がある
 - Router(config)# interface f0/0
 - Router(config-if)# no shutdown
 - f0/0を有効化する例
- 各I/FのIPアドレスの設定(p346)
 - 「ip address [IP-addr] [netmask]」コマンド(IF-configモード内)
 - Router(config)# interface f0/0
 - Router(config-if)# ip address 192.168.1.254 255.255.255.0
 - f0/0を192.168.1.254/24で設定する例

2013/07/08

第12回(1)ネットワークプランニング13(荒井)

14

シリアル接続とスタティックルート 設定【9,10th復習】

- シリアル接続
 - DCEとDTEがあり、どちらかのルータをDCEとして動作させなければならない
 - DCE側には、「clock rate 64000」を設定(IF-confモード内) ※p514
 - もう片方のDTEはclock rateは不要
- スタティックルート設定
 - 「ip route NW-ad subnet nexthop」コマンド(confモード内) ※p442
 - ip route 172.26.0.0 255.255.0.0 192.168.1.2
 - 「172.26/16宛のパケットは192.168.1.2の機器(ルータ)に転送」するように設定する例(192.168.1.2のルータへは疎通できる事)

2013/07/08

第12回(1)ネットワークプランニング13(荒井)

15

RIPの設定【11th復習】

- 個々のルータでRIPを使用するためには次の2つの設定が必要
- RIPを有効にする※11-4
 - router rip [confモード内]
 - →router-confモードに移行
- RIPを使うネットワークを指定する※11-4
 - network network-address [router-confモード内]
 - network-addressには他のルータに伝えるべきネットワークを全て個々に(つまり基本的にはネットワークの数分だけ)指定する
 - サブネットマスクは指定しないことに注意
 - サブネット化されている場合は元(分割前)のネットワークのネットワークアドレス
 - ※情報が欲しいネットワークを指定するのではない！
 - ※自分が直結しているNWの内、他のルータにも経路情報を載せたいNWを指定する

2013/07/08

第12回(1)ネットワークプランニング13(荒井)

16